

**今回は箱根駅伝に注目!!**

箱根駅伝は、1920年から続いている歴史と伝統のある大会で、新年の風物詩となっています。日本大学は、第3回大会から出場し、第16回大会に初優勝しました。第92回大会（2016年）で4年連続86回の出場で、歴代2位の記録です。日本大学は予選会を1位で通過し本大会に出場します。優勝出来る様に皆さんで応援しましょう。

箱根駅伝とは・・・

正式には「東京箱根間往復大学駅伝競走」という名称で、例年、1月2日と3日に渡って行われる関東の大学駅伝です。

現在開催されている日本の駅伝大会の中で総距離が最長で、往路5区間（107.5キロ）と、復路5区間（109.6キロ）の合計10区間（217.1キロ）で競う学生長距離最大の駅伝です。学生団体が都県をまたぎ、警察やテレビ局と連携しながら大会を運営しています。また、この大会に出る事を夢見て大学に入る選手も多く、あこがれの大会になっています。出身校を応援するなど、出場校に携わる多くの人から注目を集める大会です。

**《全日本大学駅伝対校選手権との違い》**

男子大学日本一を決める大会は、例年11月第1日曜日に行われる全日本大学駅伝対校選手権大会ですが、箱根駅伝はお正月という時期の開催で、恒例のスポーツイベントとして注目度が高くなり、箱根駅伝が男子大学駅伝の最高峰であるという意識が強くなってしまったようです。そのため、全国の有力高校生ランナーの多くは箱根駅伝を目指すようになり、関東の大学と地方の大学との実力格差が拡大しているのが現状です。

各コースのみどころ紹介

- ☆1区(21.3キロ) 往路のレース展開の流れを大きく左右する区間です。平坦なコースが続きますが、前半のハツ山橋の上り坂や後半の六郷橋の下り坂が選手が駆け引きを見せるポイントです。
- ☆2区(23.1キロ) 「花の2区」と言われています。長い上り坂が続き、各大学のエースが走ることが多く、攻略が難しいコースです。タイム差も出やすく、駅伝での醍醐味でもある、ごぼう抜きが多く見られる区間です。
- ☆3区(21.4キロ) 正面に富士山、左側には相模湾を臨む箱根駅伝の中で一番景色が良いコースで、強い向かい風が吹くことが多く選手の行く手を阻むコースです。
- ☆4区(18.5キロ) 全区間の中で最短のコースで、各大学のスピードランナーが競うコースです。勝負どころの山登りのレースにつなげる重要な区間です。
- ☆5区(23.2キロ) 往路優勝が決まる最後の区間です。箱根の山へ挑む登りは高低差800メートル以上あります。本格的な登りは箱根湯本駅を過ぎたところから始まるので、序盤でいかに力を溜めながら走れるかがポイントです。この区間でトップになった選手は「山の神」とも呼ばれています。
- ☆6区(20.8キロ) 最初の4キロを登ってから一気に下るコースです。下りで飛ばしすぎると残り3キロが苦しくなるのでペース配分が重要な区間です。
- ☆7区(21.3キロ) 最初は平坦なコースですが、9キロ過ぎから小さなアップダウンが続きます。晴れた日は気温が上がる時間帯になるので、油断するとペースを乱します。
- ☆8区(21.4キロ) 晴れた日は強い日差しや追い風で選手の体力を奪い、そして残り5キロにある遊行寺付近の急な上り坂で、さらに追い打ちをかけるコースです。来年の箱根駅伝シード権が気になる区間でもあります。
- ☆9区(23.1キロ) スタートしてすぐに下り坂になり、ペース配分が難しいコースです。スピードをコントロールした走りが必要になりますが、繰り上げスタートを避けようと最後の力を振り絞り走る選手の頑張りが見所です。
- ☆10区(23.0キロ) 気温の上昇とプレッシャーから体力を奪われ、思わぬアクシデントや逆転劇が起こることが多いコースです。激しいシード権争いからも目が離せない最後の区間です。

NEW

SportZEROのQRコードを作りました!



箱根駅伝のルール

◆繰り上げスタートとは

各区間で1位通過校との差が一定以上開いた時に取られる措置で、本部で用意した白いタスキでスタートさせることです。繰り上げスタートの目的は交通規制のためとなっています。過去の大会記録から繰り上げスタートが発生しやすい区間は**6区,10区,3区**です。10区,3区で繰り上げスタートになるのは,9区,2区で差がついてしまうからです。9区と2区は往路か復路かの違いだけで同じコースです。このコースは箱根駅伝の花といわれるコースで,区間距離が最も長く高低差も激しい難しいコースです。また各校のエースが走ることが多いので,タイム差も開きやすくなるためです。タスキリレーも駅伝の魅力の一つです。

往路での繰り上げスタート

- ・鶴見・戸塚の中継所で10分以上の差がついた場合。
 - ・平塚・小田原の中継所で20分以上の差がついた場合。
 - ・5区(往路最後の区)を走り終えたタイムで10分以上差がついた場合。
- この場合は,復路最初の6区でトップから10分遅れで一斉スタートします。

復路での繰り上げスタート

- ・各中継所で20分以上差がついた場合

◆往路優勝と総合優勝

「往路優勝」は往路のみのタイムで競い,「総合優勝」は往路と復路の合計タイムで優勝が決まります。復路は10分以内なら時差スタートなので,繰り上げスタートしたチームでなければ,一番最初にゴールしたチームが総合優勝になります。

◆区間賞とは

各区間で最も速かった選手に贈られる賞のことです。日本大学は,現在**114個**の区間賞を取得しています。

◆関東学生選抜とは

予選会でチームとして出場権を得られなかった選手のうち,上位タイム記録者で構成する選抜チームです。2013年大会から1校1人までとなりました。

日本大学の記録保持者

ギタウ・ダニエル選手は,第83回大会4人,第84回大会15人,第85回大会20人(**大会記録**)第86回大会11人,合計50人抜きを達成しています。

日本人選手としての記録は,82回大会で,**福井誠選手**が10人抜きを達成しています。

生物資源科学部食品生命学科に在籍している,加藤拓海君(1年生)も出場予定です!

平成27年度 開放時間

月・火・木曜日 16:30~19:00 (A)
 水・金曜日 14:40~19:00 (B)
 土曜日 12:15~17:00 (C)

利用講習会 12:15~12:45 (△印がついてる日)

- ・利用終了時間は体育館の退館時間です。時間に余裕をもって行動しましょう。
- ・行事やメンテナンスで利用ができなくなる場合は掲示等でお知らせします。
- ・トレーニングルームを利用するには利用講習会の受講が必要です。
 利用講習会の受付は12月1日(12:15)から開始します。(O印)
 詳細については体育館管理室までお問い合わせください。

※講習会は要予約。

12月の開放スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
	1 A	2 B	3 A	4 B	5 C	6 休
7 A	8 A	9 B	10 A	11 B	12 C	13 休
14 A	15 A	16 B	17 休	18 B	19 C	20 休
21 A	22 A	23 休	24 A	25 A	26 休	27 休
28 休	29 休	30 休	31 休			